

# 環境目標とマネジメント

2020年度の主な活動結果と2021年度の目標

🟡 2020年度目標達成 🟠 2020年度目標未達成(前年度より改善) 🟢 2020年度目標未達成(前年度より悪化)

分野	重点テーマ	管理指標	2020年度活動施策	2020年度目標	2020年度実績	2020年度自己評価	2021年度目標
地球温暖化対策	建物運用にともなうCO <sub>2</sub> 削減貢献の拡大	CO <sub>2</sub> 削減貢献量	省エネ法対象案件(延床面積300㎡以上)について、CO <sub>2</sub> 削減貢献量を大和ハウス工業の指定方法で算出、管理する。	—	75.21万t-CO <sub>2</sub>	—	—
		CO <sub>2</sub> 削減率	省エネ法対象案件(延床面積300㎡以上)についてのCO <sub>2</sub> 削減率をBEI値をもとに算出、管理する。	事務所・学校・工場 0.67以下 ホテル・病院・物販店舗・飲食店・集会所 0.75以下 集合住宅・複合用途 0.83以下	0.44 0.80 0.85	😊 😐 😞	0.65以下 0.72以下 0.82以下
		ZEB販売率 BEI値0.5以下の自社設計施工(事務所・工場・倉庫)の延床面積	事務所、倉庫・工場、物販を対象に省エネ提案、補助金活用を推進する。延床面積ベースで販売率を試算する。	34.0%以上	61.8%	😊	35.0%以上
	事業活動(オフィス)にともなうCO <sub>2</sub> 排出の削減	事務所CO <sub>2</sub> 排出量(面積あたり)	事務所のCO <sub>2</sub> 削減策として、面積あたりのエネルギー(電気、燃料など)使用量を監視するとともに、タイムマネジメント活動とも連動させる。	40.52kg-CO <sub>2</sub> /㎡以下	40.51kg-CO <sub>2</sub> /㎡	😊	40.10kg-CO <sub>2</sub> /㎡以下
		車両(工事以外)CO <sub>2</sub> 排出量(台数あたり)	事務所車両のCO <sub>2</sub> 削減策として、台数あたりの燃料使用量を監視する。	3,893kg-CO <sub>2</sub> /台以下	3,957kg-CO <sub>2</sub> /台	😐	3,805kg-CO <sub>2</sub> /台以下
	事業活動(施工)にともなうCO <sub>2</sub> 排出の削減	施工(建築)CO <sub>2</sub> 排出量(売上高あたり)	工事のCO <sub>2</sub> 削減策として、「CO <sub>2</sub> 削減活動シート」を活用し、運用・監視する。また全作業所では重機台数などを集計し、CO <sub>2</sub> 排出量を算出する。	7.38t-CO <sub>2</sub> /億円以下	6.50t-CO <sub>2</sub> /億円	😊	7.03t-CO <sub>2</sub> /億円以下
		施工(土木)CO <sub>2</sub> 排出量(売上高あたり)		30.23t-CO <sub>2</sub> /億円以下	31.19t-CO <sub>2</sub> /億円	😐	28.82t-CO <sub>2</sub> /億円以下
	RE100の早期達成	施工再エネ利用率	国内新規着工作業所を対象に、仮設電力の再生可能エネルギー利用率の向上を推進する。	国内新規作業所原則利用開始	(建築)16.2% (土木)—	—	国内新規作業所原則利用 2021年度目標1.6% (建築3.0%・土木0.6%)
		事務所再エネ利用率	自社保有建物を対象に、再生可能エネルギー利用率の向上を推進する。	36.6%以上	28.5%	—	35.4%以上
	生物多様性の保全	開発・街づくりにともなう生物多様性保全	緑被率	環境配慮設計による緑被率の管理・提案と在来種植栽など周辺環境との調和の検討・提案をする。	26%以上	36.1%	😊
生物多様性自主基準適合率			3,000㎡を超える自社開発事業、区画整理事業(プロポーザル)での生物多様性ガイドラインを運用する。	100%	100%	—	100%
廃棄物・省資源対策の推進	建設廃棄物(副産物)の排出削減	建築廃棄物排出量(総量・混廃)(施工面積あたり)	有価物を除く建築廃棄物の施工面積あたり総排出量を監視する。	(総量)30kg/㎡以下 (混廃)6kg/㎡以下	(総量)23.93kg/㎡ (混廃)7.45kg/㎡	(総量)😐 (混廃)😞	(総量)30kg/㎡以下
		土木混合廃棄物排出量(売上高あたり)	混合廃棄物の売上高あたり排出量を監視する。	0.93t/億円以下	0.64t/億円	😊	0.90t/億円以下
	建設廃棄物(副産物)のリサイクル推進	リサイクル率	排出品目の種類に対応した徹底した分別と混合廃棄物の削減をする。	95%以上	98.9%	😊	95%以上
	水資源保護	建築工事における水使用量(売上高あたり)	サンプル作業所数を拡大し、作業所の雨水・中水利用による水リスク低減を推進する。売上高あたりの水使用量を算出する。	2017年度比 ±0% 86kℓ/億円以下	85.2kℓ/億円	😊	2017年度比 ±0% 86kℓ/億円以下
		土木工事における水使用量(売上高あたり)		2017年度比 ±0% 452kℓ/億円以下	611kℓ/億円	😐	2017年度比 ±0% 452kℓ/億円以下
事務所水使用量(面積あたり)	節水機器取り付けの検討、水使用量の削減を推進する。	2017年比 3%削減 0.448kℓ/㎡以下	0.319kℓ/㎡	😊	2017年比 5%削減 0.439kℓ/㎡以下		
有害・化学物質対策の推進	居住系施設の室内空気質の改善	自主基準適合率	ホルムアルデヒド平均濃度達成率 厚生労働省指針値以下達成率 品確法特定測定物質5物質を対象に測定し、法令以上の基準(厚生労働省指針値の1/2)で管理する。	100%	100%	😊	100%
サプライチェーン	グリーン購入・調達 の推進	グリーン購入率	オフィス文房具・備品などのグリーン購入を推進する。	95%以上	94.7%	😐	95%以上
		木材調達評価	Sランク率 CSR調達ガイドラインの運用	92%以上	86%	😐	93%以上
	主要取引先のCO <sub>2</sub> 削減	目標設定率	契約実績上位社へのCO <sub>2</sub> 削減調査要請、対象調達先に対するCO <sub>2</sub> 削減目標設定要請・指導を実施する。	80%	86%	😊	90%
戦略的環境活動	環境貢献型事業の拡大	環境貢献事業売上高	フジタグループ内で連携し、EAPメンテナンス事業、FTマッドキラー販売、省エネ診断・提案工事(建物ソリューション/リニューアル事業)などの環境事業を推進する。 建物の省エネルギー性能に優れた非住宅・住宅工事(自社設計施工物件)の売上高をBEI値をもとに算出、環境事業を推進する。 上段:非集合住宅(BEI値0.8以下) 下段:集合住宅(BEI値0.85以下)	— 450億円 180億円	14.6億円 1,047.4億円 138.9億円	— 😊 😐	— 470億円 210億円
		環境提案(民間)の推進	提案件数・採用件数	環境技術、環境配慮などの提案を進める。	各部門・部署で決定 (前年度より増加)	提案件数:1,176件 採用件数:100件	😊
	マネジメント	環境教育の推進	環境資格取得率(eco検定)	社内公的資格に登録、環境知識向上に向けたカリキュラムを社内教育に組み込む。	20%以上	29.2%	😊

単位[t-CO<sub>2</sub>]はCO<sub>2</sub>換算重量を表します。

# 環境目標とマネジメント

## 環境会計のコストパフォーマンス改善に向けて

近年、脱炭素社会へ向けた環境経営促進のため、環境技術開発費や人件費は増加傾向にあります。2020年度は完成工事高の増加にともなって産業廃棄物処理・リサイクル費用が増加し、総計は前年度比30%増となりました。また、地球環境保全コスト、公害防止コスト、石綿除去にともなう環境損傷・修復コストなどが増加しました。一方、監査や教育のオンライン化が進み、管理活動コストは減少しました。今後も事業規模に見合った環境コストとなっているか、継続して監視を行います。

### 環境会計

単位:百万円

大区分	中区分	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	
事業エリア内コスト 計	公害防止コスト	653.8	745.1	633.8	1,069.3	
	地球環境保全コスト(温暖化対策費用、資源保護費用、生態系保護費用、節水費用)	5.0	12.0	19.7	243.4	
	資源循環コスト	産業廃棄物処理・リサイクル費用	2,020.9	3,725.2	3,499.7	4,643.1
		一般産業廃棄物処理・リサイクル費用	36.8	56.5	63.7	42.7
		マニフェスト費用	17.9	18.3	13.4	18.6
		2,075.6	3,800.0	3,576.8	4,698.6	
		2,734.4	4,557.1	4,231.5	6,017.2	
上下流コスト 計	グリーン購入コスト、環境配慮設計コスト	149.0	218.0	328.5	184.3	
管理活動コスト 計	ISO運用コスト、環境情報開示コスト、公害監視コスト、環境教育コスト、環境改善コスト	308.3	1,082.2	444.8	253.1	
研究開発コスト 計		159.5	217.7	342.2	378.7	
社会活動コスト 計			2.2	5.4	4.2	
環境損傷・修復コスト 計	環境修復コスト(土壌汚染浄化費用)、その他コスト(PCB関連費用)	12.1	167.3	30.0	166.1	
総計		3,363.3	6,244.3	5,382.3	7,003.5	

### 事業活動における物質・エネルギーのINPUT・OUTPUT

